

『宮城県気仙沼市応急仮設住宅、寒さ対策工事』始まる

宮城県気仙沼市応急仮設住宅の寒さ対策追加工事として風除室、アーケード、雨水排水、アスファルトの工事が昨年末から本年初めにかけて開始されました。また消化器、暖房器具の各被災者への配布は建築業者が行う事となったので、ボランティアの協力を得て行います。

津田産業(株)が建設した応急仮設住宅は56戸、建設エリアは気仙沼市赤岩五駄鱈156、気仙沼市本吉町蔵内15-1、気仙沼市東八幡前149の3ヶ所ですが、蔵内地区の工事を御紹介します。



1・2号棟間掘削状況

Uトラフ設置状況

透水性舗装・転圧状況



1号棟・風除室、舗装完成

2号棟・スロープ完成

「四ヶ月半ぶりに訪れた被災地、瓦礫の撤去が済み、基礎の解体撤去が始まっていました。基礎が撤去された跡は、住居が存在していたこともわからないような空き地になり、壁が奪われた鉄骨の店舗も復旧して再開、仮設店舗や新店舗の営業も増えて少しずつ賑やかさを取り戻してきている被災地でしたが、以前より高く、大きくなった集積所の瓦礫の山が印象的でした。」

仮設担当：栗崎

MORE
GREEN
TO YOU